

環境科学科2年生

飛騨市内の工事現場を見学

担当者の案内で工事現場を見学する生徒ら
＝飛騨市古川町殿町



工事現場、高校生に説明 吉城建設業協会が見学会

吉城建設業協会は10日、土木を学ぶ高校生を招いた工事見学会を飛騨市内5カ所で行い、飛騨高山高校環境科学科2年生26人がトンネル工事や無電柱化の現場を間近で見学した。

建設、土木業界の魅力の発信、将来の担い手確保を目的に毎年実施している。同市古川町の中心市街地の無電柱化の工事現場では、担当者の案内のもと、生徒たちは電力線や通信線

をまとめて収容する電線共同構の仕組みを学び、無電柱化による景観の確保、都市災害の防止など利点について考えた。

協会の田近正英理事長は「建設、土木の現場を間近で見られる数少ない機会。業界に興味を持ってもらえたら」と願った。このほか、スーパーカミオカンデやカグラにアクセスする道路のトンネル工事、県道古川清見線の改良工事の現場を見学した。

(三輪真大)